

平成20年度 新聞記事等一覧 (7月分)

No.	掲載年月日	媒体名	記事(番組)表題	記事(番組)内容	掲載関係者・部局等
1	2008/7/1	広報ふちゅう	2面 委員を選任 緑の基本計画検討協議会	府中市緑の基本計画検討協議会の会長に東京農工大学亀山教授、委員に東京農工大学星野准教授が選任された。	農学府 農学府 亀山 章 教授 星野 義延 准教授
2	2008/7/2	産経新聞	28面 健康科学分野で共同大学院設立 早大と東京農工大	早稲田大学と東京農工大学は「先端健康科学」の分野で共同大学院を創設すると発表。2010年4月設置を目指す。	学長 小畑 秀文 学長
3	2008/7/2	朝日新聞	31面 講演など多彩に 大学進学相談会 東京と横浜で今月	東京と横浜で開催される大学進学相談会の案内(本学参加)。	
4	2008/7/2	健康産業新聞	1面 タマ生化学 非発酵グリーンレイボス上市 新しい抗メタボ素材として注目	タマ生化学(株)は東京農工大学矢ヶ崎教授との共同研究において、アスパラチンの血糖値抑制作用に係わる有用性が見出され、アスパラチンを20%含有するグリーンレイボスエキスを開発・発売した。	農学府 矢ヶ崎 一三 教授
5	2008/7/3	食品化学新聞	4面 「グリーンレイボスエキス」発売 機能性成分 アスパラチンを規格化 タマ生化学	タマ生化学(株)は東京農工大学矢ヶ崎教授との共同研究で、アスパラチンの生理作用について抗メタボリックシンドロームなどの作用を明らかにし、グリーンレイボスエキス中のアスパラチンを20%に規格化し発売。	農学府 矢ヶ崎 一三 教授
6	2008/7/4	科学新聞	2面 早大と東京農工大 共同大学院創設へ 健康科学分野、2年後予定	早稲田大学と東京農工大学は「先端健康科学」の分野で共同大学院を創設すると発表。2010年4月設置を目指す。	学長 小畑 秀文 学長
7	2008/7/4	NHK総合	地球エコ2008「洞爺湖～命をつなぐ破壊と再生～」	サミットの舞台・洞爺湖の自然と、サクラマスやエゾシカなど生き物が命をつなぐ姿を追う。	農学府 梶 光一 教授
8	2008/7/5	朝日新聞 be on Saturday	3面 「情報大爆発」どうさばく 過去からの変化を分析	「がんばれ、生協の白石さん！」を例に挙げ、情報が爆発するウェブ空間のリンク構造を時系列的に分析できるシステムを紹介。	
9	2008/7/5	週刊ダイヤモンド (特大号)	p14 ～16 環境不適合チップ購入、表示偽装 再生紙偽装の製紙業界に新たな疑惑	新たに製紙業界が抱える問題として表示よりも重い紙が出回っていることを特集し、それについて東京農工大学岡山教授がJIS法に準拠して計測したところ表示と、実際の重量が平均7.5%も乖離していることが判明。	農学府 岡山 隆之 教授
10	2008/7/7	日刊工業新聞	27面 未来思考 経営戦略⑫ 「スキマ」の活力、マイクロ企業	マイクロ企業(スキマ産業)を題材にしたコラム。	技術経営研究科 林 志行 教授
11	2008/7/8	日本経済新聞	39面 国民公庫と農工大連携 中小企業振興	東京農工大学と国民生活金融公庫東京支店・同三鷹支店は産学連携協力の覚書を締結する。	産官学連携・知的財産センター 千葉 一裕 教授
12	2008/7/8	日刊工業新聞	6面 人に近いにぎり動作 ダブル技研フレキシブルハンドロボ	ダブル技研(株)は東京都立産業技術高等専門学校の深谷准教授と東京農工大学の遠山教授と共同で人間の手をイメージしたロボット「フレキシブルハンド」を開発した。	工学府 遠山 茂樹 教授
13	2008/7/9	産経新聞	10面 水銀使わず発光	松下電工(株)は東京農工大学越田教授と共同で、有害物質の水銀を使わずに高効率で蛍光体を光らせる技術を世界で初めて開発した、と発表。次世代の照明の発光ダイオード(LED)や有機ELに続く新たな光源として実用化を目指す。	工学府 越田 信義 教授
14	2008/7/9	日本経済新聞	12面 蛍光灯に代わる省エネ照明 松下電工、水銀使わず 5～7年後の実用化を目指す	松下電工(株)は蛍光灯に代わる新しい省エネ型の照明技術を東京農工大学越田教授と共同開発した。発光ダイオード(LED)などに続く次世代の照明技術として、5～7年後の実用化を目指す。	工学府 越田 信義 教授

No.	掲載年月日	媒体名	記事(番組)表題	記事(番組)内容	掲載関係者・部局等
15	2008/7/9	日経産業新聞 (日経テレコン21)	11面 水銀使わず「蛍光灯」 松下電工 次世代の照明技術	松下電工(株)は東京農工大学越田教授らと共同で現在の蛍光灯に代わる低消費電力型の新しい照明技術を開発したと発表。白色LED(発光ダイオード)や有機EL(エレクトロ・ルミネッセンス)に続く次世代照明技術として、5~7年後の実用化を目指す。	工学府 越田 信義 教授
16	2008/7/9	日刊工業新聞	8面 キセノンガスで高効率 松下電工など 照明向け発光デバイス	松下電工(株)は東京農工大学と共同で、直径5ナノメートル以下に加工したシリコンを電子源にした高効率発光デバイスを開発したと発表。	工学府 越田 信義 教授
17	2008/7/9	ITmedia News	“放電なしで光る蛍光灯”、松下電工など開発	松下電工(株)は東京農工大学越田教授との共同研究で「ナノシリコン電子源」を使い、放電なしで発光するデバイスを世界で初めて開発したと発表。	工学府 越田 信義 教授
18	2008/7/9	中国新聞	5面 水銀使わず発光 松下電工が新技術 蛍光灯より50%明るく	松下電工(株)は東京農工大学越田教授と共同で、有害物質の水銀を使わずに高効率で蛍光体を光らせる技術を世界で初めて開発した、と発表。理論的には同じ消費電力で蛍光灯より約50%明るくできる。	工学府 越田 信義 教授
19	2008/7/10	TOKYO MX	TOKYO MX NEWS	産官学連携・知的財産センターと国民生活金融公庫の東京支店、三鷹支店は地元中小企業への支援を充実させるのを目的に産学連携の協力に関する覚書を締結した。	産官学連携・知的財産センター 千葉 一裕 教授
20	2008/7/11	毎日新聞 (多摩版)	24面 東京農工大と国民生活金融公庫 産学連携で覚書	産官学連携・知的財産センターと国民生活金融公庫の東京支店、三鷹支店は地元中小企業への支援を充実させるのを目的に産学連携の協力に関する覚書を締結した。	産官学連携・知的財産センター 千葉 一裕 教授
21	2008/7/11	広報ふちゅう	4面 講座・講習 府中「多摩・島しょ子ども体験塾」 ～子ども環境サミット	東京農工大学で子ども環境サミットを開催。	
22	2008/7/11	広報ふちゅう	6面 官公庁から 東京農工大学科学博物館「子供科学教室」	科学博物館主催、子供科学教室の案内。	科学博物館 中澤 靖元 助教
23	2008/7/12	東京新聞 (多摩版)	22面 産学連携で覚書 国民生活金融公庫と東京農工大センター	国民生活金融公庫東京、三鷹両支店と東京農工大学産官学連携・知的財産センターは、中小企業が抱える技術的な課題を、大学と連携して解消することを目的に、産学連携の協力推進に関する覚書を締結した。	産官学連携・知的財産センター 千葉 一裕 教授
24	2008/7/16	日刊工業新聞	21面 アトピー性皮膚炎 高純度軟化水でケア 三浦工業が有用性立証	三浦工業(株)と東京農工大学松田教授の研究グループは共同で、カルシウムおよびマグネシウムイオンをほとんど含まない水(高純度軟化水)での入浴がアトピー性皮膚炎患者のスキンケアに有用なことを立証したと発表した。	農学府 松田 浩珍 教授
25	2008/7/18	日刊工業新聞	22面 今年度研究助成金交付 対象83件を選定 村田学術振興財団	村田学術振興財団は、08年度研究助成金交付対象者83件を選定。東京農工大学森島准教授、東京農工大学生嶋准教授が対象者に選ばれた。	生物システム 応用科学府 工学府 森島 圭祐 准教授 生嶋 健司 准教授
26	2008/7/18	秋田朝日放送	スーパーJチャンネルあきた	秋田県立大学と東京農工大学が単位互換や共同研究を進める為の、基本協定を結ぶ調印式を行った。	学長 小畑 秀文 学長
27	2008/7/19	秋田さきがけ	29面 県立大と東京農工大 連携強化へ協定締結 大学院生の交換など推進	秋田県立大学と東京農工大学が単位互換や大学院生の交換、共同研究などで協力関係を強める調印式を行い、連携協力推進基本協定を締結した。	学長 小畑 秀文 学長
28	2008/7/20	広報みたか	4面 市民活動 みんなの掲示板	第2回子供科学教室の案内。	科学博物館
29	2008/7/20	読売新聞	27面 大学の實力 「教育力向上への取り組み」 調査 上	学習支援策・退学率・FD(取り組み実施状況)などの項目がある「教育力向上への取り組み」調査において、一覧表に東京農工大学が掲載。	

No.	掲載年月日	媒体名	記事(番組)表題	記事(番組)内容	掲載関係者・部局等
30	2008/7/21	日刊工業新聞	17面 未来思考 経営戦略⑬ 新幹線、走る「ショーケース」に	新幹線は所要時間の短縮がメインになっているが、単なる輸送インフラとせず、外国人をはじめとする利用客に対し日本をプレゼンするための「ショーケース」とすることで国際戦略が変わる旨のコラム。	技術経営研究科 林 志行 教授
31	2008/7/21	日本農業新聞	11面 野生動物管理の専門家養成へ 東京農工大	東京農工大学は今年度から鳥獣害対策も視野に入れた野生動物管理の専門家育成を始めた。鳥獣害対策について東京農工大学梶教授のコメントを掲載。	農学府 梶 光一 教授
32	2008/7/23	YOMIURI ONLINE (秋田版)	《森は学校2008》鳥海山と人間(1) 共生示す奇形ブナ	鳥海山の標高約500メートル付近に広がる「中島合レクリエーションの森」には、不思議な形をしたブナの木が生えており、ブナの木や奇形ブナ等について東京農工大学福嶋教授の解説を掲載。	農学府 福嶋 司 教授
33	2008/7/25	日刊工業新聞	20面 新役員 アイカ工業	アイカ工業㈱の執行役員住器建材カンパニー長兼住器建材生産部長に、東京農工大学卒業生の村瀬元康氏が就任。	農学部卒 村瀬 元康氏 (卒業生)
34	2008/7/25	日刊工業新聞	33面 秋田県立大 東京農工大と連携強化 教育分野で単位互換制	秋田県立大学は東京農工大学と従来から行われてきた研究分野での協力関係を、教育分野にも拡大・発展させる連携協力推進基本協定を結んだ。	学長 小畑 秀文 学長
35	2008/7/28	毎日新聞	16面 私のスタイル IT関連書籍出版 ハー ティネス社長 高橋慈子さん 利用者視点の解説本	IT関係の解説本を出版する㈱ハーティネス社長で東京農工大学卒業生の高橋慈子氏を紹介。	農学部卒 高橋 慈子氏 (卒業生)
36	2008/7/28	日刊工業新聞	8・9 面 低炭素社会と新環境経営 グリーンフォーラム21	グリーンフォーラム21は「情報・通信と温暖化」に焦点をあて、08年度の活動を開始。08年度産業界委員にホンダ環境安全企画室室長で東京農工大学卒業生の篠原道雄氏が就任。	工学部卒 篠原 道雄氏 (卒業生)
37	2008/7/28	日刊工業新聞	39面 未来思考 経営戦略⑭ メタボ対策、理論だけでは…	筆者の行った、ダイエットを題材にしたコラム。ダイエットと企業経営の共通点を解説。	技術経営研究科 林 志行 教授
38	2008/7/29	日刊工業新聞	32面 レーザー 大きく育てる	早稲田大学白井総長のコメントを取り上げたコラムにおいて、早稲田大学と東京農工大学は共同大学院の設置に向け協定を結んだことを紹介。	
39	2008/7/29	日刊工業新聞	33面 組織・包括的な産学連携 目立つ環境テーマ 共同研究、東大 引っぱりだこ	組織的・包括的な産学連携の取り組みにおいて、東京農工大学と横河電機㈱が「精密・計測・制御」分野での連携を紹介。	
40	2008/7/31	朝日新聞(夕刊)	14面 飛べカツオドリ 危惧種、野生復帰の試み	東京農工大学渡辺元准教授が顧問を務める野生動物研究会と、NPO法人と連携した初めての野生動物救護活動として、絶滅危惧種のアカアシカツオドリの野生復帰に取り組んでおり、保護施設を管理する東京農工大学渡邊泉准教授のコメントを掲載。	農学府 農学府 渡辺 元 准教授 渡邊 泉 准教授

未掲載内容

No.	掲載年月日	媒体名	記事(番組)表題	記事(番組)内容	掲載関係者・部局等
1	2008/4/27	NHK総合	月刊やさい通信	糸井重里の『明日のやさい』に東京農工大学平田教授が専門家として出演。	農学府 平田 豊 教授
2	2008/5/1~ 5/15	JCOM	「かんとう見聞録」	東京農工大学科学博物館の紹介。	工学府 朝倉 哲郎 教授
3	2008/6/30	日刊工業新聞	30面 未来思考 経営戦略⑪ 求められる「シンプルイズム」	日本に求められる、シンプルイズムについてのコラム。	技術経営研究科 林 志行 教授
4	2008/6/30	日経産業新聞 (日経テレコン21)	22面 不祥事相次ぎ 経営諮問委設置 石原産業	石原産業㈱が設置した経営諮問委員会の委員は東京農工大学の瀬田客員教授と法政大学の上野客員教授の二人。	瀬田 重敏 客員教授

平成20年度 新聞記事等一覧 (8月分)

No.	掲載年月日	媒体名	記事(番組)表題	記事(番組)内容	掲載関係者・部局等	
1	2008/8/1	広報ふちゆう	3面 官公庁から 東京農工大学「子ども『樹木博士』へ 挑戦しよう」	公開講座「子ども樹木博士」の案内。	農学府	亀山 章 教授
2	2008/8/1	読売新聞(多摩版)	28面 農工大・秋田県立大 教育や研究で連携	東京農工大学は、秋田県立大学と連携協 力推進基本協定を結んだ。東京農工大学 が県立大と協定を結ぶのは初めて。	学長	小畑 秀文 学長
3	2008/8/1	読売新聞(多摩版)	28面 女子中高生向け サマースクール	「女子中高生のためのサマースクール 2008」の案内。	女性キャリア支 援・開発センター	
4	2008/8/4	日刊工業新聞	27面 未来思考 経営戦略⑮ やわらかな「安心・安全」発想	次世代の商品を題材にしたコラム。高齢者 が主役の時代、「ケガをしない」モノやサー ビスの設計。開発とその提供が、これから の主力となると予測。	技術経営研究科	林 志行 教授
5	2008/8/5	日経産業新聞 (日経テレコン21)	20面 技術者派遣のVSNと農工大 教育プログラム開発 外販視野、人材確保も	㈱VSNは東京農工大学と提携し、技術者 の教育・研修プログラムの共同開発を始め た。両者が得意とする分野を出し合い、 2009年3月末までに成果をまとめる。	技術経営研究科	亀山 秀雄 教授
6	2008/8/5	朝日新聞(夕刊)	2面 雑誌はどこへ デジタルな未来 その二 第二の「白石さん」を探せ	講談社のデジタル雑誌「MouRa(モウラ)」 における最大の成果として、「生協の白石 さん」を紹介。		
7	2008/8/6	朝日新聞(多摩版)	27面 南海の翼 再び空へ アカアシカツオドリ放鳥 東京農工大保護し世話 横須賀の海岸	東京農工大学で保護されていたアカアシカ ツオドリが神奈川県横須賀市の海岸で放 たれ、自然に返った。東京農工大学は野生 動物保護のNPO法人と連携して救護活動 を進めており、その第1号となった。	農学府 農学府	渡辺 元 准教授 渡邊 泉 准教授
8	2008/8/6	読売新聞	14面 大学ミニ情報 東京農工 & 秋田県立	東京農工大学と秋田県立大学は、単位互 換や大学院生の相互委託、プロジェクト研 究を進めることなどを目的に、連携協力推 進の基本協定を締結した。	学長	小畑 秀文 学長
9	2008/8/6	農業共済新聞	6面 消費者に注目される地産地消 求められる安全・安心、こだわりの商 品販売 食と農を見直す契機に	「地産地消」地元農産物を地元で消費する 運動について、課題や改善点を東京農工 大学野見山教授が解説。	農学府	野見山 敏雄 教授
10	2008/8/6	日本農業新聞	3面 食育を戦略の柱に 東京農工大大学院教授 矢口芳生氏	2007年度の食料自給率がカロリーベース で40%になったことについて、その要因と 自給率をさらに上げるための課題を東京農 工大学矢口教授が解説。	農学府	矢口 芳生 教授
11	2008/8/7	日本経済新聞	33面 上海企業と交流本格化 TAMA協 中国側の窓口発足 精密機器や木製建具 低コスト製品に	TAMA協会(古川勇二会長)は東京都多摩 地域と埼玉、神奈川県の一部の広域多摩 地区の中小企業と中国・上海地区の企業 や研究機関などとの交流を本格化する。	技術経営研究科	古川 勇二 教授
12	2008/8/10	朝日新聞	33面 多摩ニュータウン松枯れ拡大 住民調査「広域対策を」	東京農工大学卒業生の白井さんが自ら住 む八王子で松食い虫による松枯れ被害に ついて調べたところ、八王子市だけの問 題ではないと判明。松食い虫に対しては 個々の対応では不十分で広域的な対応を 訴えている。	農学部卒	白井 光雄 氏 (卒業生)
13	2008/8/11	東京新聞	18面 ブルーベリー栽培「発祥の地」をPR 小平で協議会発足 他産地と差別化カギ	農家の島村速雄さんが東京農工大学元教 授故・岩垣氏から苗木を譲り受けたことが きっかけとなり、日本で初めてブルーベ リーが商業栽培された小平市で、「小平ブル ベリー協議会」が発足。地域ブランド化と知 名度アップを図る。	農学部卒	岩垣 駿夫 氏 (元教授) 島村 速雄 氏 (卒業生)
14	2008/8/11	日刊工業新聞	19面 未来思考 経営戦略⑮ 北京五輪、環境技術に勝機?	北京オリンピックと環境技術を題材にしたコ ラム。環境保護への試みを強化した中国に 対して、技術を売り込むヒントと見るかど うか、経営者の目利きが問われると解説。	技術経営研究科	林 志行 教授

No.	掲載年月日	媒体名	記事(番組)表題	記事(番組)内容	掲載関係者・部局等
15	2008/8/12	朝日新聞(多摩版)	23面 遺伝学の故大野博士 愛馬の2世がもうすぐ産声 東京農工大	東京農工大学卒業生の故・大野乾博士の夫人より寄贈された、アメリカンミニホース「アップルサイダー」のお嫁さん「シナモン」が妊娠に成功した。東京農工大学での馬の出産は初めて。	大野 乾 名誉博士 (卒業生)
16	2008/8/12	東京新聞	17面 全国の国公立大 来春の入試要項	全国国公立大学における来春の入試要項一覧表に、東京農工大学が掲載。	
17	2008/8/13	産経新聞(多摩版)	25面 「シナモン」がママに	東京農工大学で、世界最小の馬として知られるアメリカンミニホース「シナモン」が妊娠。父親は東京農工大学名誉博士の故・大野乾名誉博士の夫人より寄贈された「アップルサイダー」。ミニホースの会や馬術部の学生が出産に向けて万全の態勢を整えている。	大野 乾 名誉博士 (卒業生)
18	2008/8/14	朝日新聞(多摩版)	27面 東京農工大 「博士の愛馬」メスのベビー	東京農工大学で、アメリカンミニホース「シナモン」がメスの赤ちゃんを出産。子馬の父は東京農工大学卒業生である故・大野乾博士の愛馬「アップルサイダー」。2世誕生に向け、教員と学生たちが態勢を整えていた。	大野 乾 名誉博士 (卒業生)
19	2008/8/14	読売新聞(多摩版)	31面 ミニホース待望の赤ちゃん 東京農工大学 学生大喜び 名前公募も	東京農工大学でアメリカン・ミニチュア・ホースの赤ちゃんが誕生した。東京農工大学卒業生の故・大野博士の愛馬アップルサイダー号のお嫁さんに迎えられたシナモン号の子で、名前の公募を検討している。またミニホースの会と馬術部顧問の田谷教授のコメントを紹介。	農学府 ミニホースの会 田谷 一善 教授 大野 乾 名誉博士 (卒業生) 星野 裕昭さん (代表学生)
20	2008/8/14	日経産業新聞 (日経テレコン21)	11面 技術経営を聞く 松下電工10年先のビジョン設定 先進情報 社内で共有	松下電工㈱の10年先の社会の姿を思い描き、それに向けて新技術を生み出す「SAT10」の成果として(独)理化学研究所と東京農工大学越田教授が共同開発した極微細に加工したシリコンを電子放出源とする発光部品を紹介。	工学府 越田 信義 教授
21	2008/8/15	日刊工業新聞	3面 技術系の人材育成 農工大と共同研究 VSN教育プログラム開発	㈱VSNは東京農工大学と技術系の人材育成に関する、教育プログラム開発を目的とする共同研究を開始した。	技術経営研究科 亀山 秀雄 教授
22	2008/8/18	産経新聞(多摩版)	24面 シナモン 子馬出産	東京農工大学で、世界最小の馬として知られるアメリカンミニホース「シナモン」が無事子馬を出産した。	
23	2008/8/18	日刊工業新聞	25面 未来思考 経営戦略① 負けて終わらぬ「グッドルーザー」	オリンピックを例に、勝敗は結果であり、そこに至る道のりが大事であるという姿勢から、企業経営でも負けたら終わりではなく次に繋げることが必要であると解説。	技術経営研究科 林 志行 教授
24	2008/8/18	朝日新聞	27面 脊椎動物の進化 続々解明 ヒトの祖先ナメクジウオ遺伝子は語る	脊椎動物の原型に最も近い生物であるナメクジウオの全遺伝子情報が解読されたことで、進化にともなって遺伝子群が倍に増える「倍化」が判明し、70年に故・大野乾博士が唱えた「遺伝子重複説」が証明された。	大野 乾 名誉博士 (卒業生)
25	2008/8/19	毎日新聞(多摩版)	25面 訃報	東京農工大学山田杉夫名誉教授が死去。	山田 杉夫 名誉教授
26	2008/8/20	日経産業新聞 (日経テレコン21)	11面 樹木の葉から抗菌物質 東京農工大 製造コスト100分の1 化粧品へ応用狙う	東京農工大学多田教授らは、樹木の葉から抗菌性や抗酸化作用のあるカルノシン酸を製造する技術を開発した。ローズマリーから抽出する従来の技術に比べ、製造コストを百分の一以下にできる見通しで、企業と共同で実用化を目指す。	農学府 多田 全宏 教授